

第七十三回帝國議會  
衆議院

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ外六件委員會會議錄(速記)第二回  
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

會議

昭和十三年一月二十九日(土曜日)午前十時  
五十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 一松 定吉君

理事池本甚四郎君 理事森下 國雄君

飯田 助夫君 今成留之助君

福田 悌夫君 田中 源君

松川 昌藏君 濱地 文平君

江羅直三郎君 稻田 直道君

小谷 節夫君 佐保 畢雄君

一ノ瀬俊民君 藤本 捨助君

野溝 勝君 馬場 元治君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官 松本 忠雄君

外務參與官 春名 成章君

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏書記官 氏家 武君

大藏書記官 入江 昂君

大藏書記官 植木庚子郎君

拓務政務次官 八角 三郎君

拓務書記官 副島 勝君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

造幣局東京出張所應舍其ノ他ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

支那事變ニ關スル臨時軍事費ノ財源ニ充

ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

○一松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、御

諮リ致スコトガアリマス、此委員會ニ付託

セラレテ居リマスル議案ハ御承知ノ如ク、

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案外六件デアリマ

ス、デアリマスルカラ、之ヲ一括上程致シ

マシテ、各案ニ對シテ自由ニ御質疑ヲナサ

ルト云フコトニナリマスルト、政府ノ方ノ

答辯モ、又質疑ナサル方モ、互ニ錯綜致シ

テ非常ニ不都合ヲ來ス虞ガアラウト思ヒマ

スルカラ、私ノ考デハ此七案ヲ三ツ位ニ分

ケマシテ、昭和十三年度一般會計歲出ノ財

源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ト、

付託議案

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル件)(政府提出)

造幣局東京出張所應舍其ノ他ノ新營費ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

支那事變ニ關スル臨時軍事費ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)

ト、造幣局東京出張所應舍其ノ他ノ新營費ニ關スル法律案ト、支那事變ニ關スル臨時

軍事費ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案ト、軍ノ需要充足ノ爲

ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案、此五案ヲ先ヅ日程ニ上セテ、之ニ對スル質疑應答ヲ

爲シ、ソレガ大體終リマシタ後ニ、對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案

ニ移リ、ソレヲ終リマシタ後ニ、最後ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ノ審議ニ入りタ

イト思フノデアリマス、御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○一松委員長 御異議ナイト認メマスカラ

左様ニ取計フコトニ致シマス、但シ政府ノ

方ノ御都合モアリマスルシ、説明ノ便宜上

七案ニ對スル政府ノ説明ダケハ一括シテ説明ヲスルト云フコトニ取計ヒタイト存ジマスガ、御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○一松委員長 左様ニ取計ヒマス、ソレカラ政府ノ説明ガ終リマシタナラバ、先ヅ資料ノ要求ヲナサル方ガアリマセバ、其御申出ヲ受ケマシテ、ソレカラ後ニ質疑ニ入リタイト思フノデアリマス、ソレモ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○一松委員長 其通りニ取極メマス、質疑ノ順序デアリマスルガ、是ハ今マデノ慣例ニ依リマシテ民、政、民、政、民、政、民、政、第一、民、政、社大、第二、東方、斯ウ云フ順序ニ致シタイト思フノデアリマスガ、但シ此順序ニ當リマシタ時ニ質疑者ガナカッタ時ニハ、其次ノ方ヲ線上ゲテ質疑ヲスル、斯ウ云フヤウニ致シタイト思フノデアリマスガ、御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○一松委員長 左様ニ取計ヒマス、ソレデハ政府ノ方カラ七案ニ對シマスル御説明ヲ願ヒマス

○太田政府委員 昭和十三年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案、昭和七年法律第一號中改正法律案、造幣局東京出張所廳舎其ノ他ノ新營費ニ關スル法律案、對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案、支那事變ニ關スル臨時軍事實費ノ財源ニ充ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル法律案、朝鮮事業公債法中改正法律案、軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案、以上七ツノ法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマスガ、茲ニ改メテイマ一應御説明致シタイト存ジマス

先ヅ第一ニ昭和十三年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ハ、俗ニ謂フ赤字公債、歳入補填公債ニ關スルモノデアリマス、昭和十三年度ノ一般會計ノ歳出ノ財源ト致シマシテハ、既ニ成立シテ居ル公債法ニ依ッテ出シ得ルモノガアリマス、即チ現行ノ震災善後公債法及道路公債法ニ依ル公債、次ニ説明致シマスル滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲ノ公債法中改正法律案ニ依ル公債、之ヲ發行致シマスル外ニ、歳入ノ不足ヲ補ヒマスル爲ニ五億五千七百八十万圓ノ公債ノ發行ヲ必要ト致シマスノデ、其起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十三年度ノ一般會計ノ歳出總額ハ二十八億六千六百七十餘萬圓

ニナツテ居リマス、之ニ對シマシテ普通ノ歳入ガ二十一億七千三百六十餘萬圓アリマスノデ、之ヲ充當致シマシテ尙ホ不足スルモノガ六億九千四百十餘萬圓ニナリマス、之ヲ公債財源ニ依ル必要ガアリマス、此内現在行ハレテ居リマス公債法デ調達出來マス震災善後公債ノ分ガ三百八十餘萬圓、及ビ道路公債ノ分ガ七百九十餘萬圓、茲ニ昭和七年法律第一號中改正法律案ニ依ッテ調達シ得ルコトトナリマスル滿洲事件公債ノ分ガ一億二千四百六十餘萬圓アリマス、此三口ヲ加ヘテ差引キマシタ殘額五億五千七百七十餘萬圓ニ付キマシテハ、其財源ヲ調達スル爲ニ、歳入補填公債五億五千七百八十萬圓ヲ起債スル必要ガアリマス、尙ホ昭和十三年度ノ歳出豫算中、若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度昭和十四年度ニ繰越サレル結果ニナルデアラウト思ヒマスルガ、其繰越額ノ財源タル公債ハ、必シモ之ヲ昭和十三年度内ニ發行スル必要ハアリマセ

ス、ソコデ昭和十四年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノ適當ト認メタ次第デアリマス

ニ關シマシテハ、其財源ニ充ツル爲ノ公債發行ニ付キマシテ、第六十一回帝國議會ノ協贊ヲ經テ定メラレ、其後第六十二回、第六十四回、第六十五回、第六十七回、第六十九回及ビ第七十回帝國議會ノ協贊ヲ經テ改正セラレテ居リマス、其現行ノ昭和七年法律第一號ニ依ッテ、昭和十二年度マデノ財源トシテ、總額十二億六千四十萬圓ヲ起債スルコトトナツテ居リマスガ、事件ノ繼續ニ伴ヒマシテ昭和十三年度ノ一般會計ニ於テ必要ナル經費一億四千四百十餘萬圓ニナツテ居リマスルガ、其中デ滿洲國ノ國防費分擔金受入ナドニ相當スル金額合計千九百五十萬餘圓ヲ差引キマシタ残りノ一億二千四百六十餘萬圓ハ、是マデノヤウニ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲ニ、現行法ニ依ル公債發行ノ限度ヲ増シマシテ、十三億八千五百萬圓トスル必要ガアルノデアリマス

第三ノ法律案ハ、造幣局東京出張所廳舎其他ノ新營費ニ關スル法律案デアリマス、造幣局ノ東京出張所ノ廳舎ハ、元復興事務局廳舎ノ一部ヲ使用シテ居リマス、所ガ此建物ハ震災ノ後デ應急ノ設備トシテ建テラレマシタモノデアリマシテ、腐朽破損ガ甚シク、且ツ手狭デアリマス爲ニ改築ノ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマス、其上ニ今回

産金法ノ實施ニ伴ヒマシテ、此處デモ金銀地金ノ精製及ビ品位ノ證明ヲスルコトト致シマシタノデ、是ガ設備ノ新設等ニ要スル經費ニ充ツル爲ニ、造幣局ノ資金ノ中デ三十五万圓ヲ拂出シマシテ、一般會計ニ繰入ル、ナドノ必要ヲ生ジタ次第デアリマス

第四ノ法律案ハ、對支文化事業特別會計ノ特例ニ關スル法律案デアリマス、對支文化事業特別會計ノ歳出額ハ、同特別會計法第七條及ビ附則第四項ノ規定ニ依リマシテ、寄附金ニ依ルモノヲ除クノ外、毎年度四百万圓ヲ超過シ得ナイコトニナッテ居リマス、然ルニ支那事變發生後ニ於ケル色々ノ情勢ニ顧ミマシテ、補助費及ビ助成費ヲ増スナドノ必要ガアリマスルカラ、昭和十三年度以降當分ノ内、右ノ制限即チ四百万圓ト云フ額ヲ六百万圓マデ増スコトニスルト共ニ、其間此特別會計ニ於キマシテ、萬一持ッテ居リマスル證券ノ償還元利金ノ收入不足ニ因ッテ、決算上不足ヲ生ジマシタ時ハ、積立金ヨリ之ヲ補足シ得ルノ途ヲ開イテ置クノヲ適當ト認メタノデアリマス

第五ノ法律案ハ、支那事變ニ關スル臨時軍事費ノ財源ニ充ツル爲ノ特別會計ヨリスル繰入金ニ關スル法律案デアリマス、現下ノ一般、特別各會計、歳計ノ實情等ニ顧

ミマシテ、臨時軍事費特別會計ノ歳出ノ財源ニ充テマスル爲メ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ッテ、通信事業、帝國鐵道、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計カラ、臨時軍事費特別會計ニ繰入金ヲスルコトト致シマシテ、昭和十三年度ニ於キマシテハ通信事業特別會計カラ千六百万圓、帝國鐵道特別會計カラ四千万圓、關東局特別會計カラ三百五十万圓、朝鮮總督府特別會計カラ千七百五十万圓、臺灣總督府特別會計カラ千七百万圓、及ビ樺太廳特別會計カラ二百三十万圓ヲ、ソレノ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトト致シマシタノデアリマス、其繰入ニ關シマシテ、法律案ノ制定ヲ必要トスルノデアリマス

第六ハ朝鮮事業公債法中改正法律案デアリマス、是ハ朝鮮事業公債ノ發行限度ヲ増スコトニ關スルモノデアリマス、朝鮮總督府特別會計ノ昭和十三年ノ豫算ニハ、京城平壤間ノ復線工事施行ナドノ爲ノ鐵道建設及ビ改良費ノ追加額ガ四千餘万圓アリマス、更ニ金増産計畫ニ伴フ送電施設費三千六百万圓ガアリマシテ、合計七千六百餘万圓ニ付キマシテハ、其經費ノ性質及ビ朝鮮總督府特別會計ノ歳計ノ現状ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ所、既

ニ第七十回帝國議會迄ニ成立濟ニ係ッテ居ル鐵道建設及ビ改良費並ニ港灣修築改良費既定額ノ内、公債財源ニ依ル豫定デアッタモノヲ、普通財源支辨ニ振替ヘマシタモノナドガ二千四百餘万圓アリマスル爲ニ、差引キ致シマシテ五千二百萬圓ダケ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増ス必要ガアルノデアリマス

最後ニ軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特別ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、現下ノ時局ニ伴ヒマシテ、軍ノ需要スル物資ノ數量ガ大變増シテ參リマシタ所、是ガ調達ノ圓滑ヲ圖リ、軍ノ行動ニ支障ナキヲ期シマスルコトハ、喫緊ノ要務ト考ヘラレルノデアリマス、仍テ此際會計上ノ臨時應急措置ト致シマシテ、現行ノ會計法第二十一條但書ノ規定ニ拘ラズ、當分ノ内前金拂又ハ概算拂ノ範圍ヲ擴ゲテ、關係業者ノ事業運営上ノ利便ニ資シ、以テ軍ノ需要充足ノ圓滑ヲ圖ル必要ガアルノデアリマス、以上申述ベマシタ理由ニ依リマシテ、是等七件ノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○一松委員長 先刻申上ゲマシタヤウニ質疑ニ入りマス前ニ、資料要求ノ必要ガアリマスルナラバ、此際御申出ヲ願ヒマス

○野澤委員 資料ヲ御貫ヒシタイト思ヒマス、ソレハ昭和六年金再禁止以來ノ國債所有ノ分布狀況ヲ、此際一ツ御願シタイト思ヒマス

○小谷委員 文化事業ノ委員ノ顔觸、ソレカラ其人達ノ大體ノ閣歴、如何ナル事情ニ依ッテ選任セラレタカト云フ選任事情ノ簡單ナモノ、其中ニ貴族院議員ガ何人アリ、衆議院議員ガ若シアリマスナラバ其名前、又委員ノ中ニ支那語ノ話セル人ガ何人アルカ、是ダケヲ一ツ

○今成委員 對支文化事業デ、只今ノ御説明ニ依リマス、毎年度四百万圓ツ、出シテ居タノガ、今度六百万圓マデニシタイト云フ御説明デアッタノニ、茲ニ三百万圓ヲ限リトアッテ、ソコニ三百万圓ノ違ヒガアルノデス、而シテ三百万圓ト云フモノニ對シテ、ドウ云フ風ニ經費ヲ分布ナサッテ、文化事業ニ御利用ナサルノデアラウカト云フ内容ヲ御洩シ願ヘレバ、其資料ヲ頂戴シタイ

○一松委員長 資料請求ハソレヲ聞イタ後ニスルト云フノデスネ

○今成委員 サウデス、ソレヲ聞イテカラニ致シマス、ソレカラモウ一ツ、昭和七年法律第一號中ノ改正ノ滿洲事變費ガ、今日

マデ十二億六千四百万圓デアッタノヲ増額ナサルト云フノデアリマスガ、之ニ付キマシテモ大體ノ經費ノ所要ノ目標ガアルドラウト思ヒマスカラ、ソレヲ資料トシテ御提出願ヘレバ大變結構ダト思ヒマス

○一松委員長 只今ノ今成君ノ要求セラレマシタ事實關係ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス

○太田政府委員 先程六百万圓ニナッタト云フノハ、單純ナ條文ノ關係デゴザイマシテ、條文ニアリマス通り、現在對支文化事業特別會計法ノ第七條ニ三百万圓アリ、ソレカラ附則ノ第四項ニ百万圓アリマシテ、ソレヲ合ハシテ四百万圓、新ニ殖エルノガ二百万圓デアリマス、ソレダケ御説明シテ置キマス

○一松委員長 外ニ資料ノ要求ハゴザイマセヌネーソレデハ政府ノ方ニ於キマシテハ、只今委員諸君ヨリ御要求ニナリマシタ資料ヲ、成タケ速ニ御提出アランコトヲ希望致シマス

○森下委員 一寸、資料デ載キタイノデスガ、現在ノ對支文化事業ニ關スル資料デアリマスガ、主トシテ上海、北京ニアリマス色々ナ學校、研究所、圖書館、其他各種ノ事業ニ關スルモノヲ願ヒマス

○一松委員長 ソレデハ是ヨリ質疑ニ入りマス、先ヅ發言ノ申出ノアリマスル民政黨ノ今成君カラ、大藏省關係ノ御質疑ヲ願ヒマス

○今成委員 今資料ヲ頂戴スルト尙ホ宜カッタノデスガ、只今資料ガナクテ御質問申上ゲル點ダケラ、此機會ニ於テ御聽キシタイト思ヒマス、軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案ヲ提案ニナリマシタノデ、當該關係業者ニ取リマシテハ、洵ニ結構ナ案ダト思フノデアリマス、私共地方ニ於テ軍需品需要ニ應ジテ納入致シマシテ以來、中々代金ガ下リマセヌ、甚シキニ至ッテハ三四箇月モ交付ニナラナイト云フ實情ガアリマシタノデ、是ハ地方ノ方バカリデアアルカト思ヒマシテ、過般中央ノ方ニモ二三當ツテ見タノデアリマス、所ガヤハリ、中央ニ於テモ需要品ノ代金拂ガ、非常ニ遅レテ居ルト云フコトデアリマス、此御提案ニ依リマスレバ、前拂若クハ概算拂ヲナサルト云フ、大變結構ナ案デアリマスガ、從來ノ法律デスラモ三四箇月モ代金ヲ支拂ハナイノデアリマスガ、ソレハドウ云フ事情デアリマセウカ、從來ノ規定ノ範圍ニ於テ爲シ得ル支拂ヲ促進ナサレバ、當業者ハ満足致スノデアリマス、尙ホ前拂マデモ要求ス

○今成委員 只今ノ御話デ満足致シタノデアリマスガ、此軍ノ需要ノ代金ハ、大藏省ガ直接御拂ニナルノデアリマセウカ、ソレゾレノ官廳デ御拂ニナルノデアリマセウカ、若シ大藏省デ御拂ニナルノデアレバ、只今ノ御答辯ニ依ッテ洵ニ満足スルノデアリマスガ、大藏省ガ左様ナ御方針デアリマシテモ、各支拂官廳ノ方デ遅レテ居リマシテハ同ジコトナノデアリマス、其點ヲ承リマシテ、若シ支拂官廳ノ方デアリマスルナラバ、大藏省ヨリ嚴重ナル御交渉ヲ願ヒマシテ、只今ノヤウナ大藏省ノ御趣旨ヲ御傳達シテ戴キタイト思ヒマスカラ、其點ヲ伺ッテ置キマス

○太田政府委員 今成サンノ御質疑ハ御尤ト思ヒマス、大分サウ云フ非難ヲ各方面カラ承リマシテ、此際軍ノ需要充足ノ爲カラ申シマシテモ、然ルベキ處置ヲ執ラナケレバラナイト云フ意味デ、昨年ノ十月ニ勅令ヲ出シタヤウナ次第デゴザイマシテ、直接拂ヒマス方ノ關係ハ、私共一ツ隔ッテ居リマスカラ、御聽キスル外ナイノデアリマスガ、當局ノ方ニモ當時殊ニ金融逼迫ノ聲モ聞キマシタノデ、何トカシテ早クヤルヤウニト云フ意味ニ於キマシテ、督促ト申シマスカ、氣ヲ配ルヤウニシテ戴イタ次第デアリマス、軍機ノ關係ナドモアリマシテ、中簡單ニ行カヌモノモアルヤウデゴザイマスガ、其點ニ付テハ當局トシテハ十分注意ヲ致シテヤッテ居ルノデゴザイマスガ、尙ホ不足スル點、御不便トスル點モアルヤウニ承リマスノデ、御趣意ノアル所ハ能ク係ノ方ニ申シテ、御希望ニ副フヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

○太田政府委員 私が御答申シマシタヤウニ、一ツ隔テ、ト申シマシタノハ、今成サンノ仰シヤツク意味ヲ含ンデ居ルノデアリマス、大藏省ガ直接拂フノデナク、各關係官廳カラ拂フノデアリマス、仍テ御趣旨ノ點ハ十分達スルヤウニ申傳ヘタイト思フノデアリマス

○一松委員長 政友會ノ方デ御質問スル方ハアリマセヌカ——ソレデハ森下委員ニ御願シマス

○森下委員 對支文化ト朝鮮事業ニ付テ御伺シタイノデスガ……

○一松委員長 ソレハ一寸御待チ下サイ、

對支文化事業特別會計ニ關スル法律案ト朝鮮事業公債法中改正法律案ハ、後廻シニ致スコトニ先程御約束申上ゲテ置キマシタノデ、其以外ノ議案ニ付テノ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、今申シマシタ五ツノ議案ニ對スル御質問ハアリマセヌカ

○今成委員 其方ハ資料ガ參リマシテカラ御願シタイト思ヒマスカラ、對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案ノ方カラ願ヒタイト思ヒマス

○一松委員長 ソレデハ只今御聽キノ通りデアリマシテ、對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案ト、朝鮮事業公債法中改正法律案トハ、他ノ五案ノ質疑ヲ終ツタ後ニト云フ御約束デアッタノデアリマスガ、其五案ニ對スル御質疑ハ、マダ資料ノ到達シナイ爲ニ、御質疑ノ出來ナイ事情ニアリマスルノデ、此五案ハ後廻シニ致マシテ、對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル法律案ノ質疑ヲスルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○一松委員長 御異議ナシト認メマシテ、政府委員ノ出席ヲ求メテ、森下委員ノ質疑ヲ御願スルコトニ致シマス

〔本日ハ此程度デ散會ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○一松委員長 外務省ノ政府委員ニ只今差支ガアルヤウデ、御出席ガアリマセヌカラ、本日ハ此程度デ質疑ヲ打切りマス、次會ノ期日ハ、明日ハ休ミマシテ、明後日ハ都合ガアリマスカラ、火曜日ノ午前十時カラ開會致スコトニ致シマス

午前十一時二十五分散會

昭和十三年一月二十九日印刷

昭和十三年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局